

親鸞浄土仏教思想論 上・下

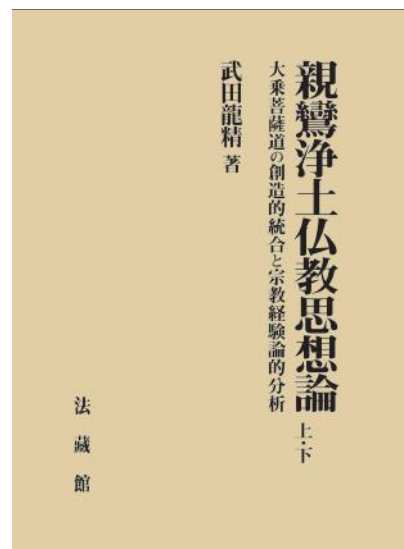
大乘菩薩道の創造的統合と宗教経験論的分析

たけだ りゅうせい

武田龍精著

▼A5判・上製函入・i384頁・定価 一九、八〇〇円

2022年8月刊行



十地経と十住毘婆沙論に説かれる如来十義と菩薩道十地を分析的方法論のカテゴリーとして施設し、親鸞聖人によって開顕された誓願一仏乗を聞思せんとした創造的考究書。

【分売不可】

【目次】

◆上巻

はじめに

序論

- 一 全仏教の根本的立場
 - 二 大乘の仏道体系
 - 三 十地経に説かれる十地の教法
- ### 第一章 空思想の基本的性格
- 一 龍樹以前の空思想
 - 二 龍樹の「縁起—無自性—空」思想の意義
 - 三 中観哲学の根本的立場

第二章 浄土仏教思想の原理的構造

- 一 大乘菩薩道十地開説の意図と意義
- 二 十地の根本義
- 三 名字菩薩と如実菩薩
- 四 十地の法は誰が誰のためにいつ説かれるのか
- 五 八法—初地を得るための最初の基本的な必修条件—
- 六 発願—初地菩薩がおこす深心の独自性—
- 七 入必定聚—仏の十力を得るための根本条件—

第三章 如来の十義（Ⅰ）

- 一 真実の中に至る【第一義】
- 二 親鸞浄土仏教における真実論
- 三 実相の中に至りその義に通達する【第二義】
- 四 仏は三解脱門に來至し、また同時に衆生をして三解脱門に至らしめる【第三義】
- 五 一切種をもって四諦を見る【第四義】

◆下巻

第四章 如来の十義（Ⅱ）

- 一 六波羅蜜をもって仏地に來至する【第五義】
- 二 四功德処をもって仏地に來至する【第六義】

第五章 如来の十義（Ⅲ）

- 一 一切の仏法をもって諸仏に來至する【第七義】
- 二 親鸞聖人にとつての源空聖人の存在論的意義
- 三 源空聖人の三選の文
- 四 行文類大行釈引文科段の主要構成

第六章 如来の十義（Ⅳ）

- 一 十地をもって阿耨多羅三藐三菩提に來至す【第八義】
- 二 如実の八聖道分を以て來たる【第九義】
- 三 権と智の二足をもって仏に來至し、また如に去つて還らざる【第十義】

◆著者略歴

武田龍精（たけだ りゅうせい）
一九四〇年広島県生まれ。四歳七カ月で被爆体験（広島市内）。龍谷大学名誉教授、文博。日本宗教学会名誉会員。日本ホワイトヘッド・プロセス学会名誉顧問。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
法藏館 定価 一九、八〇〇円	
武田龍精著	
親鸞浄土仏教思想論 上・下	
大乘菩薩道の創造的統合と宗教経験論的分析	
ISBN: 978-4-8318-4151-3 C3015	
お名前	お住所
お電話	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp

仏教・真宗